（案）　　資料２

令和８年　月　　日

旭市教育委員会
教育長　向後　依明　様

（仮称）北統合中学校学校再編代表者会議
会　長

今後の方向性について（答申）

令和８年５月 20 日付け旭教総第 392 号で諮問されました標記の件について、（仮称）北統合中学校学校再編代表者会議で審議した結果、下記のとおり答申します。

記

琴田小、共和小、中和小、萬歳小、古城小の学区を対象とした統合中学校の整備については、将来にわたり持続可能な教育環境を整備するため、将来的な生徒数の推計を踏まえた「対象学区の見直し」や「柔軟な学区制度の導入」を検討したうえで、（仮称）北統合中学校を新設すること。

なお、その際は以下の留意事項を踏まえて検討を行うこと。

【留意事項】

１．統合にかかる費用・整備について

学校施設の整備には、莫大な費用を要することから、将来の子供たちに過度な負担を残すことのないよう、~~有利な財源の活用を踏まえた~~長期的な財政見通しに基づき、計画的かつ効果的な整備を進めること。

また、子供たちの可能性を最大限に伸ばせるような魅力ある教育環境の整備を検討すること。

２．スピード感を持った対応について

生徒数の減少が今後さらに進むことが見込まれることから、教育環境の維持・向上を図るためにも、スピード感を持って着実に進めること。

３．安全で安心な通学について~~スクールバスの導入について~~

中学校の新設に併せた通学路の整備を行うこと。一方で、道路整備には多くの期間を要することが懸念される。気候変動の影響により、年間を通じて高温となる時期が長期化しており、登下校時の熱中症のリスクが懸念されることから、安全で安心な通学環境を確保し、生徒の身体的負担を軽減するため、スクールバスの導入を検討すること。

４．新たな学校用地の購入について

　土地購入に係る費用や期間を勘案すると、その必要性について十分な説明が求められる。一方で、成田空港の第二の開港を見据えた場合、北統合中学校を中心とした新たなまちが形成されることも期待できるため、位置については、立地特性や地域振興などを踏まえた検討を行うこと。

５．千潟中学校~~等の公共施設~~の活用について

　千潟中学校は、北統合中学校の学区としては立地的に北に偏っているが、旭市の北地域の玄関口となるほか、地域の防災拠点としての役割を果たしている。また、東総運動場との連携や隣接する市所有地を含めた中学校機能の拡充が見込めるため、~~新たな土地の購入と併せて、~~千潟中学校の活用も検討すること。

６．変化に対応した持続可能性の高い施設整備について

　北統合中学校の施設は、将来の人口動態の変化を見据え、小学校や小中一貫校、あるいは公民館等の公共施設への転用など、変化に対応できるような多目的で持続可能性の高い施設整備を検討すること。

７．既存中学校の有効活用の検討について

　施設整備については、既存施設の有効活用も視野に入れること。将来を見据えた中学校２校体制による学校再編を進める場合は、本会議の提案を踏まえて検討すること。

~~８．学区について~~

~~　基本方針のとおりの５学区では、将来的な生徒数が少ないため、対象学区の見直し又は柔軟な学区制度を導入すること。~~

本答申は、「子供たちのための充実した安全安心な教育環境の早期実現」を最優先に検討した結果であり、その実現にあたっては、統合中学校の整備が長期化することのないよう、あらゆる選択肢について検討し、持続可能でスピード感のある学校再編を着実に推進されることを要望する。